

第二節 昭和二十二年

① 学事抜粋

昭和二十二年

二月 八日 文化講座開催。

二月 東京美術学校規程、規則改正。

二月十八日 研究科、選科廃止。

三月 十日 下谷区と浅草区が統合され、台東区たいとうくが成立。本校所在地は「東京都台東区上野公園内」となる。

同月 学生寄宿舎新設計画はじまる。

五月 石井教室騒動起こる。

戦歿卒業生本居典親遺作展（三日～五日、陳列館）開催。

生徒団体奈良見学旅行（村田泥牛引率）。

七月二十二日より十日間 師範科夏季講習会開催。

十月二十七日より一週間 木彫部生徒奈良見学旅行（平櫛田中引率、予科・第一年生十四名）

十月 生徒団体奈良見学旅行（前田泰次引率）。

同月 八子一郎遺作展（三十一日～十一月二日、陳列館）開催。

十一月十三日 第二回芸術祭開幕。

同月 書籍と印刷に現れた近代美術文化展（十七日～二十二日、校内）開催。

十二月 戦歿卒業生本儀信遺作展（陳列館）開催。

② 職員その他（主に「辞令簿」による。）

昭和二十二年

一月三十一日 講師滝川長七、依願解嘱となる。

一月末現在講師は左記のとおり。

蒔田宗次、関野克、石沢正男、石橋啓十郎（犀水）、中村伝治、

尾上八郎（柴舟）、鈴木清、寺内万治郎、羽石光志、村田泥牛、

山崎三郎、吉川逸治、児島喜久雄、伊藤廉、吉野富雄、麻生磯

次、加藤顕清。

三月二十六日 吉川逸治、丸山不忘は教授に任命される。磯矢陽

（阿伎良）は工芸技術講習所教授兼本校教授に任命される。

同月三十一日 嘱託大山倍は文部事務官兼文部教官（本校勤務）

に任命される。

四月二十日 講師脇本十九郎（楽之軒）は教授に任命される。

同日 元小石川植物園勤務石井初太郎は農夫に任命され、埼

玉県鶴ヶ島農場勤務を命ぜられる。

同月二十一日 桜林仁は心理学担任講師を嘱託される。

同月三十一日 渡辺洋（昭和二十一年日本画科卒）は教務事務を

嘱託され、日本画科勤務を命ぜられる。丸井金蔵（昭和八年同

科卒）は講師を嘱託され、工芸科勤務を命ぜられる。

五月十九日 文部事務官小林義郎は文部大臣官房会計課勤務を命

ぜられる。

同月二十日 上原之節ゆきよは文庫事務を嘱託され、東京都技師石川栄

耀あきは建築科講師を嘱託される。

同月 閑休庵千宗守は建築科（岡田捷五郎）の発案により茶道